

第21回まち Lab

平成 19 年 8 月 22 日(水)午後 7 時～9 時
まちやサロン於

モデレーター:猪俣芳浩

参加者:猪俣、中里、中村豊、津久井、荒井

欠席者:加藤、中村喬、藤野、野村

Agenda

報告事項

■「歴史の小径」事業の進捗状況について

- ・8/23(木)歴史の小径検討協議会 竜の井部会開催
それ以外の部会に関しては、9月中に立ち上げる予定。
振り返りシートを用意し、ワークショップの感想などを調査したい。

■七夕祭資源リサイクル事業「竹灯籠」企画について(猪俣)

- ・大分県竹田市にて竹灯籠を作成し、観光に活用している。
- ・9/8(土) 館林流の竹灯ろう作成予定(午後1時30分～)
(毎年開催される七夕祭の廃材(竹)を利用して新しい取り組みができないか?)

■群馬県「地域住環境活動支援事業(グランドワーク活動支援)」について

(19.3/26 上毛新聞:猪俣)

- 市町村や民間が取り組む住環境改善への支援事業
・こういうものをもっと調査し、研究して行きたい。群馬県の担当課へ市役所より説明依頼をする。

■その他

- 福島県喜多方市「東京大学とのゼミ分室(東京大学都市デザイン研究室)を設置」
NPO と連携したまちづくり (H19.8.14 福島民報:猪俣)
「くらはく」平成19年10月5日～14日喜多方市にて開催予定
- ①糸と花街(朝日新聞 19.8/20～:猪俣)
・文化は歴史の記憶と心と共に残る

検討事項

①(仮称)市民活動支援センター設立のための提言について(猪俣)

- ・全6回の会合のまとめ。市民活動推進のくりに考えたとき、福祉や教育、まちづくり等分野が多くなり統括し運営することが非常に大変になるかもしれない。他市の事例をみながら運営方法もより具体的に検討すべき。

②日本経済新聞 ゼミナール「都市 再生と創造性⑩19.8/20」(猪俣)

- 京都、姉小路界隈の町式目策定について
<http://www.aneyakouji.jp/>

③歴史の小径事業における「評価部会」の目的と評価指標について(猪俣)

- ・参加メンバーの満足度が知りたかった。そのことにより、その人たちの納得度も計れる。
- ・評価については、定量化できないアウトプットがある。そうなると受益者、関係者の満足度がポイントになる。(アンケート等に考えを活かしていく)

課題

- 課題図書輪読『自治体をどう変えるか』佐々木信夫著 担当:荒井裕哉
第7章～

- ・補助金は「削減」により、厳しくなってくると思われる。全体的に、「補助金」から「交付金」制度への移行が見られる。
- ・「入るを測って出るを制する!(本文中)」を考えなければいけない。

■次回 第22回まち Lab

- ・平成19年9月19日(水)午後7時から まちやサロン
輪読本「自治体をどう変えるか」(輪読対象範囲、輪読担当未定)